



北浦漁協の主幹漁業は、中型まき網漁業19トン型 6カ統(1カ統は網船1隻、灯船兼探索船2隻、運搬船2隻で船団を構成している)である。アオリイカ(モイカ)、カマス(10月～12月)、底曳のハモ、メヒカリ、定置網のブリやメジナも多く揚がる。

北浦灘アジ、ひむか本サバ

北浦灘アジは回遊するマアジを生きたまま捕獲し、港内で畜養することで肉質を安定させて出荷。ひむか本サバは天然種苗、無投薬飼育による養殖で、刺身で食べられる新鮮さとうまみがある。いずれも宮崎県認証の逸品である。



詳しくは、
宮崎県水産物ブランド品の
ページをご覧ください。

黒潮が接岸する好漁場を擁する北浦漁協。漁業生産の大部分をまき網漁業と魚類養殖漁業が占めている。そんな中で同漁協の自慢は、宮崎県水産物ブランド品認定の北浦灘アジ、ひむか本サバ。北浦灘アジは、生きたまま捕獲して活魚船で運び、一週間以上湾内の生け簀で畜養させたものを出荷しています。これに対してひむか本サバは養殖魚。天然種苗、無投薬での飼育で安全でうまさの

乗ったサバを生産しています。ひむか本サバは、同漁協が独自に価格を設定しているのも強み。ブランドづくりに丹精する同漁協は、漁師も丁寧な作業を心がけています。ブランド魚だけでなく、購入者からの希望があれば北浦産の地産地消証明書を発行し、北浦産のアピールを行っているほか、安定した水揚げがあるサバの消費を高める取り組みをしています。

北浦

きたうら

魚

十カカ

北浦自慢の灘アジ、ひむか本サバ

data



- 設立
- 主な漁獲内容
- 主な漁獲方法
- 年間漁獲量
- 年間水揚げ高
- お問い合わせ

昭和40年10月(宮野浦、市振、古江漁協の合併による)

アジ、サバ、イワシ類、養殖カンパチ、養殖タイ、養殖サバ等
まき網漁業、魚類養殖漁業、定置網漁業、
底曳網漁業、建網漁業等

31,560t(平成22年度)

48億8,823万円

〒889-0302 延岡市北浦町市振541番地4
TEL.0982-45-3101 FAX.0982-45-3748
URL <http://www.jf-kitaura.jp/>

